

交換留学対象校一覧

以下の表を参考に、対象学科を確認すること。

“B”:派遣時に学部3年生 “M”:派遣時に博士前期(修士)課程1年生

※“B”が記載されている協定校へ学部4年次に留学を希望する者、あるいは“M”が記載されている協定校へ修士2年次に留学を希望する者は、卒業・修了制作時期と留学時期が重なることについて、研究室および担当教員に相談し、許可を得ることができれば応募可能。なお、油画に所属している学生は、学部3年次または修士1年次以外での派遣を認めない。

募集	協定校名	日本画	油画	版画	彫刻	工芸	グラフィック	プロダクト	テキスタイル	環境	情報 (メディア・情テ)	芸術*1	統合	演劇舞踊 (演舞・劇美)	推薦人数 (合計33名)	留学期間 (1学期)*2	
A選考	ベルリン芸術大学 (ドイツ)							BM							1名	2023年10月 ～2024年2月	
										BM*3					1名		
												BM			1名		
		オスロ国立芸術大学 (ノルウェー)								BM						1名	2023年8月 ～2023年12月
		ヨーテボリ大学 (スウェーデン)							BM*4							1名	2023年9月 ～2024年1月
		チェルシー・カレッジ・オブ・アーツ (イギリス)								B						1名	2023年9月 ～2023年12月
		グラスゴー美術学校 (イギリス)								B						1名	2023年9月 ～2024年1月
		ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン (アメリカ)						B*5								1名	2023年10月 ～2023年12月
	シンシナティ大学 (アメリカ)								B						1名	2023年10月 ～2023年12月	
B選考	シラバコン大学 (タイ)	BM	BM	BM	BM										1名	2023年8月 ～2023年12月	
	弘益大学校 (韓国)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	2名	2023年8月 ～2023年12月	
	ソウル大学校 (韓国)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	1名	2023年9月 ～2023年12月	
	中央美術学院 *6 (中国)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM		BM		2名	2023年9月 ～2024年1月	
	国立台北芸術大学 *7 (台湾)	BM	BM	BM	BM		BM				BM	BM	BM	BM	1名	2023年9月 ～2024年1月	
	国立台湾芸術大学 (台湾)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	1名	2023年9月 ～2024年1月	
	ヘリット・リットフェルト・アカデミー (オランダ)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		1名	2023年9月 ～2023年12月	
	ベルリン芸術大学 (ドイツ)	BM	BM	BM	BM										2名	2023年10月 ～2024年2月	
	国立高等装飾美術学校 (フランス)	BM	BM	BM	BM			BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	1名	2023年10月 ～2024年1月	
	アアルト大学 *8 (フィンランド)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	2名	2023年8月 ～2023年12月	
	オスロ国立芸術大学 (ノルウェー)								BM		BM				1名	2022年8月 ～2022年12月	
	ヨーテボリ大学 (スウェーデン)	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		1名	2023年9月 ～2024年1月	
	ローザンヌ美術大学 (スイス)				B	B		B	B	B	B		B		2名	2023年9月 ～2024年1月	
	ウィーン応用美術大学 (オーストリア)				BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM	2名	2023年10月 ～2024年1月	
	ロイヤル・カレッジ・オブ・アート (イギリス)	M	M	M	M	M	M	M	M	M		M			2名	2023年10月 ～2023年12月	
シンシナティ大学 *10 (アメリカ)	BM	BM	BM	BM	BM	BM	BM		BM	BM	BM	BM	BM	1名	2023年8月 ～2023年12月		

- \*1. 芸術学科の学生派遣については、作品制作を行っている学生が主な派遣対象となる(理論系プログラムへの応募の場合は、制作活動をしていなくても良い)。
- \*2. 派遣時期については、変更となる可能性がある。
- \*3. 建築専攻の学生のみ派遣対象とする。
- \*4. 修士課程については、Child Culture Design/Animation/Videoのみ応募可とする。
- \*5. ① Graphic Design、② Illustration、③ Film/Animation/Videoの3プログラムのみ応募可とする。
- \*6. 派遣先学科は「建築、設計、実験芸術、版画、油画、壁画、彫刻」のいずれかであり、特に高い中国語能力が求められる。
- \*7. Department of Theatrical Design and TechnologyおよびDepartment of Theatreに応募する場合は、特に高い中国語能力が求められる。
- \*8. 派遣先学科に各制限があるため、最新の募集要項(例年6-7月公開)を必ず確認すること。
- \*9. 演劇舞踊デザイン学科の派遣対象は、劇場美術デザインコースの学生のみとする。
- \*10. 現在先方大学と調整中のため、最新の募集要項(例年6-7月公開)を必ず確認すること。

2022年6月15日

## RISD および HDK への応募について

Rhode Island School of Design (RISD) および HDK-Valand – University of Gothenburg (HDK) への留学を希望する学生は、以下の状況を考慮した上で応募をすること。

### RISD

先方大学の国際交流担当部署が大規模な再編中であるため、2022年度は交換留学生の受入を実施していなかった。2023年度に学生受入を再開するかどうか、現時点では不明。

### HDK

先方大学は、アトリエにスペースがある場合のみ、本学学生の受入を実施している。過去3年、本学の学生は受け入れ拒否をされている。これまで、特例的に時期を変更しての学生派遣を実施したが、2023年度も同様の対応ができるとは限らない。

以上

2022年6月15日

## アアルト大学 交換留学対象プログラム

交換留学対象校のアアルト大学について、2023年度後期の派遣先プログラムは以下の通りです。

### 学部

- ・ Visual Communication Design (一部英語開講)
- ・ Design

### 修士課程

- ・ Art Education
- ・ Collaborative and Industrial Design
- ・ Fashion, Clothing and Textile Design
- ・ New Media
- ・ Visual Communication Design
- ・ Visual Cultures, Curating and Contemporary Art

- ・ 学部生が修士課程のプログラムに申請することは原則としてできません（多摩美術大学の修士課程へ進学することが決定している学部4年生は申請可能）。
- ・ 応募先のプログラム内容や申請方法については、応募者本人がアアルト大学のホームページ等で確認してください。
- ・ 応募者の所属学科・コースに関わらず、アアルト大学で学びたい分野のコースに応募できます。ただし、本学での専門分野以外のコースに応募する場合は、事前に所属学科長の許可を得る必要があります。
- ・ 対象学科について質問がある場合には、国際交流センターまでお問い合わせください。

問い合わせ先：

国際交流センター Tel: 042-679-5605 / email: intl-ex@tamabi.ac.jp

2022年6月15日

### 独自の語学要件を設定している学校について

志望する学校で使用される言語に関わらず、TOEIC／TOEFL iBT／IELTS Academic のいずれかのスコアを提出する必要がある。英語力の目安については、最低でも TOEIC 520 点／TOEFL iBT 40 点／IELTS Academic 4.0 以上を学内選考への応募時点で取得していることが望ましい。なお、応募書類提出締切日までにスコアを提出できない学生は、応募締切 1 か月前までに国際交流センターに報告すること。

なお、協定校によっては独自の語学力要件を設けていることがあるので、各自で責任をもって調べること。以下、2022年6月時点で判明している各校独自の語学要件を列挙する（変動する可能性があるので注意すること）。

シンシナティ大学：

TOEFL iBT 66 点以上（+各セクションで 15 点以上）、IELTS Academic 6.0 点以上（+各セクションで 5.5 点以上）、または DuoLingo で 95 点以上

ヘリット・リートフェルト・アカデミー：

IELTS Academic 6.0 以上（かつ Speaking セクションで 6.0 以上）

ロイヤル・カレッジ・オブ・アート：

TOEFL iBT 61 点以上または IELTS Academic 5.0 以上

ソウル大学校：

TOEFL iBT 88 点以上、IELTS Academic 6.0 以上、TEPS560 点以上、または KOREAN TOPIK Level 5 以上

国立台北芸術大学：

Department of Theatrical Design and Technology および Department of Theatre に応募する者は、特に高い中国語能力が求められる。

中央美術学院：

特に高い中国語能力が求められる。

2022年6月15日

学生各位

多摩美術大学  
国際交流センター

## 2023年度 交換留学生募集要項 (A 選考)

### 1. 交換留学制度について

本学と学術交流協定を締結している海外協定校に派遣するため、以下の通り本学から推薦する学生を募集する。多摩美術大学での学内選考を通過した者は本学の推薦のもと、協定校に対し交換留学の応募をすることができる。応募書類を協定校に送付し、先方から正式に受入の内定を得た者が、交換留学生として派遣される（応募先の協定校での審査結果によっては、学内選考の結果に関わらず受入拒否となる場合があるのでよく注意すること）。交換留学生に選ばれた者は、本学へ授業料を納めれば、留学先での学費は全額免除される。

### 2. 応募資格

- ① 対象学科・学年に所属する学生であること。対象学科については、別紙を参照とすること。対象学年については、原則として応募時点で学部2年生または本学修士課程に進学する意志のある学部4年生。
- ② 学部4年次・修士2年次での留学を希望する学生については、所属学科・専攻・コースの研究室より事前に許可を得てから申請をすること。くわえて、交換留学開始までに卒業要件科目を全て取得していること（ただし、最終年度に開講されている科目で、交換留学中の単位認定対象となるものを除く）。交換留学直前までに同条件を満たせなかった場合、交換留学資格の取消、もしくは出発後に留年となる可能性がある。なお、絵画学科油画専攻については、学部3年次または修士1年次以外での派遣を認めない（学部3年次または修士1年次での応募を認めない）。
- ③ 美術研究科修士課程での留学を希望する学部4年生については、本学の修士課程入学試験に合格し、進学すること。また、交換留学期間が終了した後、本学で修士課程を修了する意志があること。
- ④ 前年度の成績が、GPA2.30以上（3.00点満点）であること。GPAの計算方法については下記を参照すること。ただし、前年度休学の場合、休学前の年度による学内成績を用いることとする。

$$\frac{S+A \text{ の単位数} \times 3.0 + B \text{ の単位数} \times 2.0 + C \text{ の単位数} \times 1.0 + D \text{ の未修単位数} \times 0.0}{\text{前年度の総登録単位数}}$$

※SおよびA = 3.0、B = 2.0、C = 1.0、D = 0.0

※進級要件に関係しない科目（教職科目・学芸員科目など）は除く。

- ⑤ 留学先で授業を受けるのに支障のない程度の語学力（英語もしくはその他の現地語）があること。または派遣時まで向上させる意思があり、能力的にもそれが見込めること。

**志望する学校で使用される言語に関わらず、TOEIC／TOEFL iBT／IELTS Academic のいずれかのスコアを提出する必要がある。**英語力の目安については、最低でも TOEIC 520 点／TOEFL iBT 40 点／IELTS Academic 4.0 以上を学内選考への応募時点で取得していることが望ましい。なお、応募書類提出締切日までにスコアを提出できない学生は、応募締切 1 か月前までに国際交流センターに報告すること。

協定校によっては独自の語学力要件を設けていることがあるので、各自で責任をもって調べる。別紙に、2022 年 6 月時点で判明している独自の語学要件を列挙する。

- ⑥ 心身ともに留学生活に適応できる健康状態であること。留学生活に適応できないと大学から判断された学生は、派遣交換留学が取り消される。
- ⑦ 渡航費および滞在費等を自己負担できること。申請する学校によっては、渡航前に一定の留学費用を現金で用意する必要がある。たとえば、オスロ国立芸術大学に応募をする場合、VISA 申請のために、64,443.5NOK\*を先方大学の銀行口座に一時的に振り込まなければいけない。  
\*2022 年 6 月時点の情報。1NOK=13.16JPY 計算で約 850,000 円。後日全額返金されるが、一括で納めなければいけない。
- ⑧ 応募時点で、本学への学費を滞納していないこと。
- ⑨ 応募者が本学に登録している国籍が示す国／地域に立地している協定校への応募は、原則として認められない。たとえば、登録国籍がノルウェーの学生は、オスロ国立芸術大学へ応募することはできない。登録国籍については、各自 CampusSquare で確認すること。なお、日本国籍を登録している場合は、国籍欄は空欄となっている。
- ⑩ 応募時の年度の進級判定会議において留年が確定した者、もしくは派遣時の年度に休学をしている者は応募資格を喪失する。応募時の年度に休学をしている者については、1) 所属学科（専攻・コース）の指導教員から許可を得た上で、2) 他の応募者同様に本要項で指定する方法で応募書類を提出し、3) 指定された日時を選考面接を受け、4) 合格後は本学でのオリエンテーションに参加することを条件に応募を認める。
- ⑪ 2022 年度 A 選考募集で合格した者は、今回の募集(B 選考)に応募することはできない。

### **3. 単位認定**

本学が適当と認めた留学中の成果に基づき、留学期間に本学での授業科目を履修したものとしてみなすことができる。その際、単位認定科目については原則として所属学科の進級および卒業に必要な必修科目と選択必修科目に限る。留学先での成果を示すため、派遣先での成績証明書、制作物、留学体験レポート等を本学の所属学科研究室に提出する必要がある。

#### 4. 応募について

下記 Web ポータルにアクセスし、締切日までに、各種必要情報を入力し、各種応募書類をアップロードすること。

Web ポータル：

<https://form.run/@intl-ex-1652926506>

受付締切：

2022年10月3日（月）17:00 まで

必要情報：

Web ポータル上で確認すること。なお、推薦者情報を入力する箇所があるが、必ず事前に推薦書執筆の依頼をすること。その際、後日国際交流センターから推薦者宛に直接メールが届くことを伝えること。

応募書類：

8種類の応募書類がある。すべての書類を1つのPDFファイルにまとめて提出すること。また、容量は50メガバイト以内とし、書類の順番を守ること。

① 国外留学願：

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1a6Z4jhP1datsFQ6a-P3lXfsy3vKKGvhN/edit?usp=sharing&ouid=107553381074534387251&rtfpof=true&sd=true>

② 志望理由書（日本語）：

[https://docs.google.com/document/d/1BOpGgJpmf9h\\_sFvb1ZXHeNKVUv-xcOi8/edit](https://docs.google.com/document/d/1BOpGgJpmf9h_sFvb1ZXHeNKVUv-xcOi8/edit)

③ 志望理由書（英語）：

<https://docs.google.com/document/d/12P-rFauvsGk7S8uQqWalJzgzmkKTDokj/edit?usp=sharing&ouid=107553381074534387251&rtfpof=true&sd=true>

④ 保証人同意書：

<https://docs.google.com/document/d/1xWVs6Q55NCn41F-piZUwmv7u9Z4clZbq/edit?usp=sharing&ouid=107553381074534387251&rtfpof=true&sd=true>

上記 URL から各種書類データ（Google Spread Sheet と Google Document）にアクセスし、「ファイル」から「ダウンロード」を選び、WORD ドキュメントまたは Excel ドキュメントとしてデータ保存すること。情報入力後、「PDF ドキュメント」に変換して提出すること。なお、すべての書類は必ず A4 サイズ 1 枚以内に収めること。

⑤ 成績表（日本語）

CampusSquare（CS）から昨年度の成績を PDF としてダウンロードすること

CS → 「単位修得状況参照」 → 対象年度を選択（昨年度を選択する） → 「成績通知書出力」

⑥ 英語能力を証明する書類の写し

- 過去2年以内に受験した試験（TOEIC／TOEFL iBT／IELTS Academic）の証明書

- 英語圏以外への留学希望者は、現地公用語能力を証明する書類も提出することが望ましい
- 紙媒体の語学力証明書しか手元にない場合は、スキャンし PDF データに変換して提出

### ⑦ 健康診断書

学内の自動発行機で発行したものをスキャンし、PDF データに変換して提出すること

### ⑧ 作品・成果資料

- 1 ページで、自分の作品・成果等をアピールすること
- 例) 自信のある作品画像、映像のスクリーンショット、論文の概要など
- 作品・成果等の画像を掲載する場合は、タイトルと説明文を載せること
- 「学籍番号、学科・専攻、学年、氏名」を必ず明記すること

## 5. 書類審査 (1次審査) について

応募者多数の場合は、応募書類による 1 次審査を行う。

**結果発表：2022 年 10 月 10 日 (月) までに応募者本人に Email にて通知する。**

## 6. オンライン面接審査 (2次審査) について

1 次審査を通過した者について、オンライン面接審査 (2 次審査) を行う。

**面接日：2022 年 10 月 19 日 (水) 予定 (詳細は書類審査通過者に Email にて通知する)**

以下の注意事項を確認のうえ、ポートフォリオ (芸術学科の学生は論文可) を画面共有できるようにしておくこと。

- ポートフォリオの様式は自由
- 各作品について、簡単な説明を書き記すこと (日本語・英語併記 or 日本語・現地語併記)
- ポートフォリオにくわえて、現物の作品を画面上に映すことができる
- 映像作品の場合は、2 分以内に編集し、画面共有して上映することができる
- 面接時間の都合上、映像を全て発表できない可能性があるため、発表方法は工夫すること
- 芸術学科の学生で、理論系のプログラムに申請する者は、ポートフォリオの代わりに論文やエッセイ等を画面共有しても良い。その場合は、日本語版および英語版を画面共有できるようにしておくこと

### 英語面接について

面接は一部英語で実施する。最低限、下記項目については英語で説明できるよう準備すること。

- 自己紹介
- 自分の専攻分野 (例：油画、グラフィック、芸術学、劇場美術) を選んだ動機や理由
- 交換留学に挑戦したい理由やその学校を志望する理由
- ポートフォリオ、論文、映像、現物作品の説明

※面接本番では原稿やメモを読み上げることはできない

※上記以外のことを面接で聞くこともある

**結果発表：2022 年 10 月 25 日 (火) までに応募者本人に Email にて通知する。**



## その他

- 教職課程を履修している者については、在学中に免許を取得することができなくなるので注意すること（資格課程科目は単位認定不可のため）。
- 学芸員課程を履修している者については、在学中に免許を取得することが難しくなるので注意すること（資格課程科目は単位認定不可のため）。
- 派遣先での宿舎は、学生個人で探さなければならない。英語やその他現地語で派遣先の住宅担当部署や現地の不動産業者等と直接やりとりをする必要があることを留意すること。
- 派遣先への入国に必要なビザ申請等の各種手続きは、学生個人で行う必要がある。都内にある現地国の大使館等に相談した上で、各自手続きを進める必要があることを留意すること。
- 派遣学生は、渡航前に本学が指定する保険（学研災付帯海外留学保険）に加入しなければならない。正当な理由があり、本学が指定する保険に加入しない場合は、本学が指定する補償内容をカバーした十分な保証内容の保険に加入しなければならない。クレジットカードに付帯されている保険は不可。
- 派遣先大学からの受入承諾書が発行された派遣交換留学生に対して、多摩美術大学交換留学生奨学金を給付する（参考：昨年度給付額 200,000 円）。
- 派遣時に日本学生支援機構の奨学金を受けている学生は、学生課での手続きが必要となる。
- 日本学生支援機構から第二種奨学金の貸与を受けていない派遣学生は、新たに日本学生支援機構から第二種奨学金（短期留学、貸与）の申し込みができる。希望者は学生課に問い合わせること。
- 派遣学生は留学体験レポート（用紙は国際交流センターが配布する）を提出する必要がある。また、次年度に実施する留学体験報告会での発表義務を負う。
- 天災、テロ、暴動、感染症、その他本学が現地渡航を危険と判断した場合には、交換留学を中止する可能性がある。その際には、多摩美術大学国際交流危機管理マニュアルに則り、本学より学生に対して各種指示を行う。派遣交換留学生は、その指示に従うことが義務付けられる。
- 新型コロナウイルス、ウクライナ侵攻、その他不測の事態を考慮して、本要項の内容が一部変更となる可能性がある。
- 交換留学に関連する最新の情報や追加情報が、国際交流センターの公式 Web ページ上に公開されることがあるので、定期的にチェックすること。

**【問い合わせ先】**

国際交流センター（八王子キャンパス 本部棟2階）

Tel: 042-679-5605 / Email: intl-ex@tamabi.ac.jp